

海軍公報 (部内限) 第四七三七號

昭和十九年七月十二日(木)
海軍大臣官房

○告示

海軍省告示第一號ノ五
昭和十八年海軍省告示第一號ノ八第九艦隊ニ艦隊軍法會議ヲ置ク件ハ之ヲ廢止ス
昭和十九年七月十日

海軍大臣 臣

海軍省告示第一號ノ六
第四南遣艦隊軍法會議ヲ第九艦隊軍法會議ノ後艦隊軍法會議ニ指定ス
昭和十九年七月十日

海軍大臣 臣

○令 達

官房人機密第一四八二號
昭和十九年勅令第九十九號ノ規定ニヨリ七月一日及七月十日附任用セラレタル海軍技術科士官ノ海軍ノ席次ヲ左ノ通定ム
昭和十九年七月十日

海軍大臣 臣

海軍技術少將日岡長明(元四八ノ二)ノ次ニ

海軍公報(部内限) 第四七三七號 昭和十九年七月十二日

九五三

海軍技術少將 松永 幸一(元四九)ニ	海軍技術大佐 藤井 三郎(元四九)ニ	海軍技術大佐 小川 寛一(元一〇九ノ二)ノ次ニ	海軍技術中佐 足達 左京(元二二九ノ四)ノ次ニ	海軍技術中佐 田崎 彌太郎(元三九)ニ	同 中村 進(元三九)ニ	同 岡本 吉太郎(元三九)ニ	同 田中 國隆(元三九)ニ	海軍技術少佐 多田 正昭(元三一七ノ八)ノ次ニ	海軍技術少佐 山 根 巖(元三七)ニ	海軍技術少佐 才木 靜馬(元三九)ノ次ニ	海軍技術少佐 藤 原 巧(元三九)ニ	同 飯 敏 夫(元三九)ニ	同 小林 吉雄(元三九)ニ	海軍技術少佐 新井 誠雄(元三九)ニ	同 神澤 桂一(元三九)ニ	同 三宅 稜(元三九)ニ
--------------------	--------------------	-------------------------	-------------------------	---------------------	--------------	----------------	---------------	-------------------------	--------------------	----------------------	--------------------	---------------	---------------	--------------------	---------------	--------------

0679

海軍技術少佐	小島 近雄 〇四九ノ五	同	海軍技術大尉末次輝治 〇二四八九ノ次	同	鈴木 千里 〇六七ノ四
同	脇 澤 武 〇四九ノ六	同	海軍技術大尉	同	佐々木 成 幸 〇四九ノ三
同	坂 本 昇 〇四九ノ七	同	同	同	澁 井 貞 三 〇四九ノ三
海軍技術大尉加藤茂夫 〇七三七ノ二ノ次	同	同	同	同	中 原 茂 〇四九ノ四
海軍技術大尉	加藤 萬治 良 〇七三ノ三	同	同	同	中 田 一 幸 〇四九ノ五
海軍技術大尉永倉俊充 〇八六一ノ八ノ次	同	同	同	同	長 井 謙 次 〇四九ノ六
海軍技術大尉	宮澤 太郎 〇六六ノ九	同	同	同	木 野 健 男 〇四九ノ七
同	山本 利夫 〇六六ノ〇	同	同	同	玉 川 嘉 政 〇四九ノ八
海軍技術大尉長谷川靜管 〇九七ノ三ノ次	同	同	同	同	瀨 浦 又 藏 〇四九ノ九
海軍技術大尉	杉 橋 涉 〇九七ノ四	同	同	同	森 川 親 雄 〇四九ノ〇
同	川口 重一 〇九七ノ五	同	同	同	山 比 定 勝 〇四九ノ一
同	河東 義方 〇九七ノ六	同	同	同	眞 下 實 〇四九ノ二
同	藤田 忠夫 〇九七ノ七	同	同	同	佐 溝 正 三 郎 〇四九ノ三
同	富村 茂雄 〇九七ノ八	同	同	同	星 野 二 郎 〇四九ノ四
海軍技術大尉村上喜千雄 〇二六七ノ一ノ三四ノ次	同	同	同	同	新 井 敬 造 〇四九ノ五
海軍技術大尉	谷口 正勝 〇二六七ノ五	同	同	同	山 形 繁 之 〇四九ノ六
同	村尾 朋都 〇二六七ノ六	同	同	同	守 永 實 雄 〇四九ノ七
同	柴崎 敏行 〇二六七ノ七	同	同	同	横 山 鉄 彌 〇四九ノ八
同	山本 將雄 〇二六七ノ八	同	同	同	北 川 吉 夫 〇四九ノ九
同	林 巖 〇二六七ノ九	同	同	同	彦 坂 善 道 〇四九ノ〇
同	織田 文雄 〇二七ノ四〇	同	同	同	吉 島 晃 一 〇四九ノ一
同	今井 博夫 〇二七ノ四一	同	同	同	原 田 明 治 〇四九ノ二
同	中森 榮一 〇二七ノ四二	同	同	同	

0680

<p>官房人機密第一四八四號 昭和十九年勅令第九十九號ノ規定ニ依リ海軍所屬ノ技師ノ職ニ在リタル者ヨリ昭和十九年七月一日及七月十日附任用セラレタル海軍技術科士官ノ任用官等ニ於ケル實役停年ニ關シテハ海軍文官タリシ在職期間ヲ昭和十四年官房機密第四〇三八號ノ例ニ依リ通算スルモノトス 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p>	<p>官房醫第一二五號 左ノ各號ニ依リ海軍軍醫學校ニ於テ特設防疫班員タル者ノ講習ヲ施行ス 昭和十九年七月十一日 海軍大臣</p> <p>一 講習課目 比律賓方面ニ於ケル「マラリア」「デング熱」等ノ防遏上必要ト認ムル課目特ニ其ノ豫防上有効ナル現地清掃作業</p> <p>二 講習期日 昭和十九年七月四日ヨリ十日間</p> <p>三 講習指導官及輔佐官 指導官 海軍軍醫學校長 輔佐官 海軍軍醫學校教官 海軍省醫務局員 適宜</p>
<p>四 講習員 別ニ指定ス</p> <p>五 報 告 指導官ハ講習終了後其ノ實施經過概要及所見ヲ報告スルモノトス</p> <p>六 旅 費 講習員ノ旅費ハ昭和十八年官房經第七號ニ依リ請求ヲ俟テ別途配付ス</p> <p>官房經第六四五號 昭和十八年官房經第一八〇號中左ノ通改正ス 昭和十九年七月十二日 海軍大臣</p>	<p>第六號ニ左ノ一項ヲ加フ 特殊使役者家族ヲ招致シ又ハ隨伴スルトキハ廳長必要アリト認メタル場合ニ限り一回限家族移轉料トシテ三十圓以内ヲ支給スルコトヲ得 (参照) 海軍機密會計法規類集一三〇ノ六八頁 官房機密第二三號ノ七二 昭和十九年七月十一日 海軍大臣 各領守府司令長官殿</p>

0682

ラズ他工事ニ支障ヲ來スモノアリ又工作當務者ノ不注意ニ因リ
工事粗略化ニ陥リ竣工後戰闘保安行動ニ支障ヲ生ズルモノアリ
勿論艤裝簡易化ノ主旨ハ資材勞務ノ節約ヲ圖リ艦船ヲ速ニ整備
完成セシメ以テ一艦一艇ニテモ多量且早期ニ戰力化セントスル
ニ在ルモノナルニ付右趣旨ニ副フ如ク一般ニ徹底方可然配慮相
成度

教育機密第二三五號

昭和十九年七月十日

内令提
要登載

海軍省教育局長
海軍省人事局長

關係各廳長殿

一般兵科豫備學生出身海軍豫備將校ノ指導ニ
關スル件中改正ノ件通知

昭和十八年十二月十六日教育機密第三九三號申進中左記ノ如ク
改正セラレ候條了知相成度

記

一	館山海軍砲術學校(防空班)	防空隊小隊長
二	同右(特陸班)	特陸小隊長
一	海軍砲術學校(對空班)	防空隊小隊長
二	同右(特陸班)	特陸小隊長
三	同右(化兵班)	地上五斯關係 初級士官

ニ改ム

- 二 番號「三」、「四」、「五」、「六」、「七」、「八」、「九」、「一〇」、「一一」、「一二」ヲ夫々「四」、「五」、「六」、「七」、「八」、「九」、「一〇」、「一一」、「一二」ニ改ム

九 海軍航海學校(測量班)

測量關係初級士官

一〇 海軍航海學校(航海班)

一般艦船乘組初級士官(特定配置)

二 同右(測量班)

測量關係初級士官

四 同上修得者ノ配員上注意スベキ事項ノ欄中

「又ハ海上一般勤務」ヲ「又ハ(航海班)以外ノ者ヲ海上一般勤務」ニ改ム

(參照) 内令提要卷二 五七三頁

○ 雜 款

○當分ノ間在佛海軍武官事務所宛電報ハ在獨海軍武官事務所經由トセラレ度 (海軍省副官)

○集會所設置

舞鶴水交社美保集會所ヲ六月十六日鳥取縣米子市灘町一丁目九十二番地美保海軍部隊會議所内ニ設置セリ (舞鶴水交社)

○本日普通公報發行セズ

(限 内 部)

○ 判 決

海軍公報 (部内限) 號外

和十九年七月十二日(水)
海軍大臣官房

海軍公報 (部内限) 號外

0685

海軍公報(部内限) 號外

0686

海軍公報 (部内限) 號外

三

0687

海軍公報 (部内限) 號外

四

0688

海軍公報 (部内限) 號外

0689

海軍公報 (部内限) 號外

六

0690

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 慈 副

昭十九年七月十二日(水)
海軍大臣官房

海軍公報 (部内限) 號外

0691

海軍公報（部内限）號外

0692

海軍公報 (部内限) 號外

三

0693

海軍公報 (部内限) 號外

四

0694

海軍公報(部内限) 號外



五

0695

海軍公報 (部内限) 號外

六

0696

海軍公報 (部内限) 號外

七

0697

海軍公報 (部内限) 號外

八

0698

海軍公報 (部内限) 號外

九

0699

海軍公報 (部内限) 號外

一〇

0700

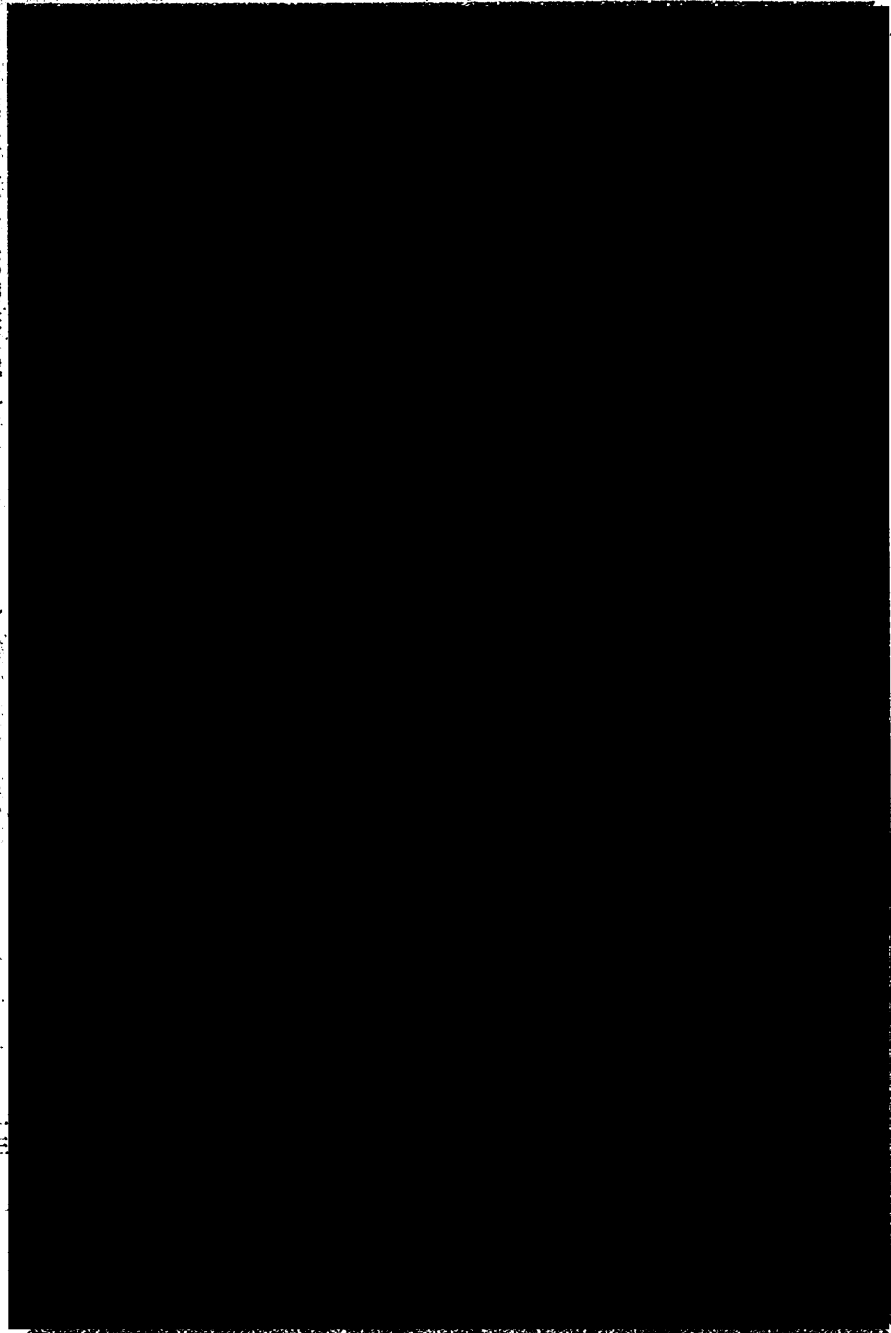
海軍公報（部内限）號外

0701

海軍公報（部内限） 號外

0702

海軍公報 (部内限) 號外



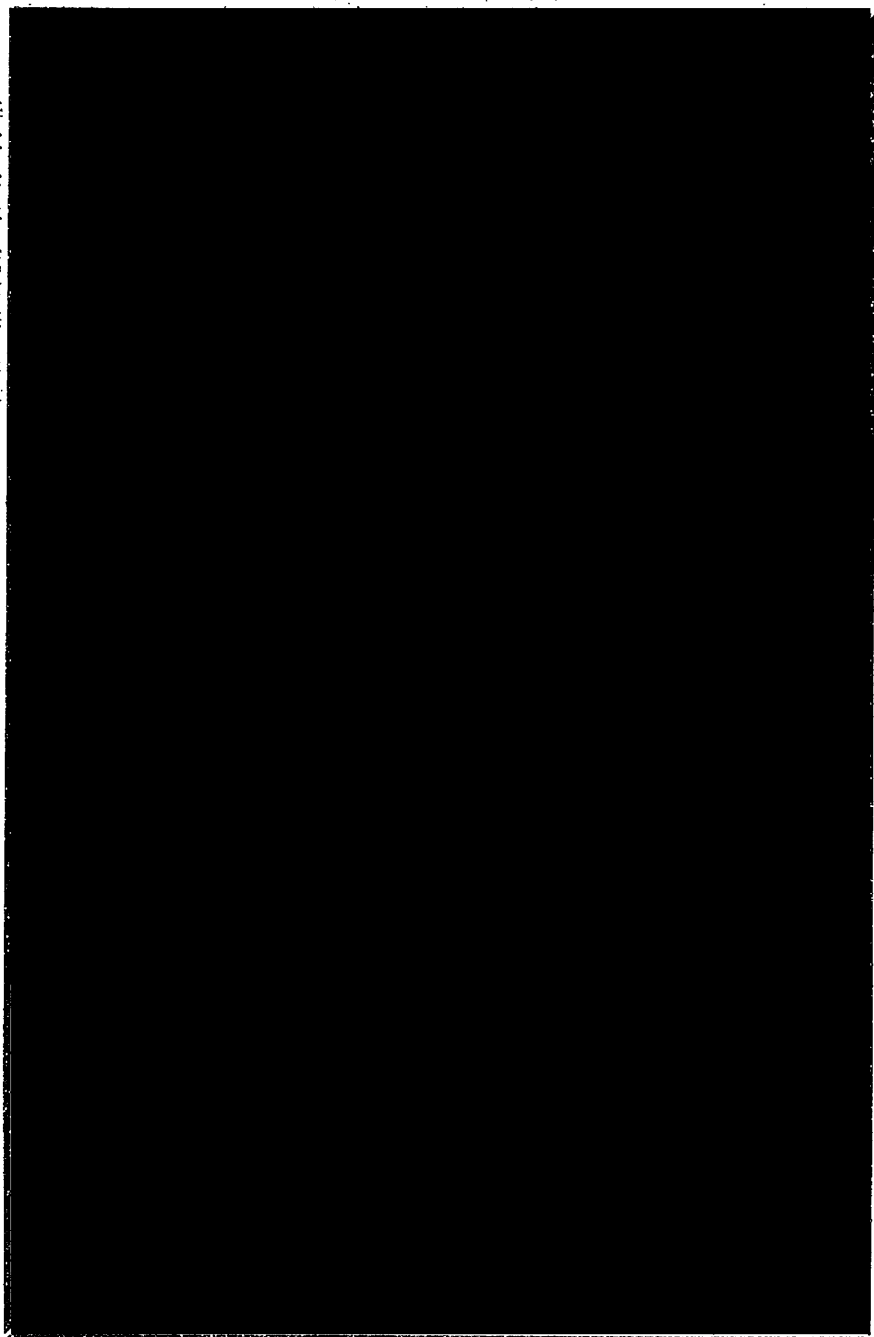
0703

海軍公報 (部内限) 號外

一四

0704

海軍公報 (部内限) 號外



一五

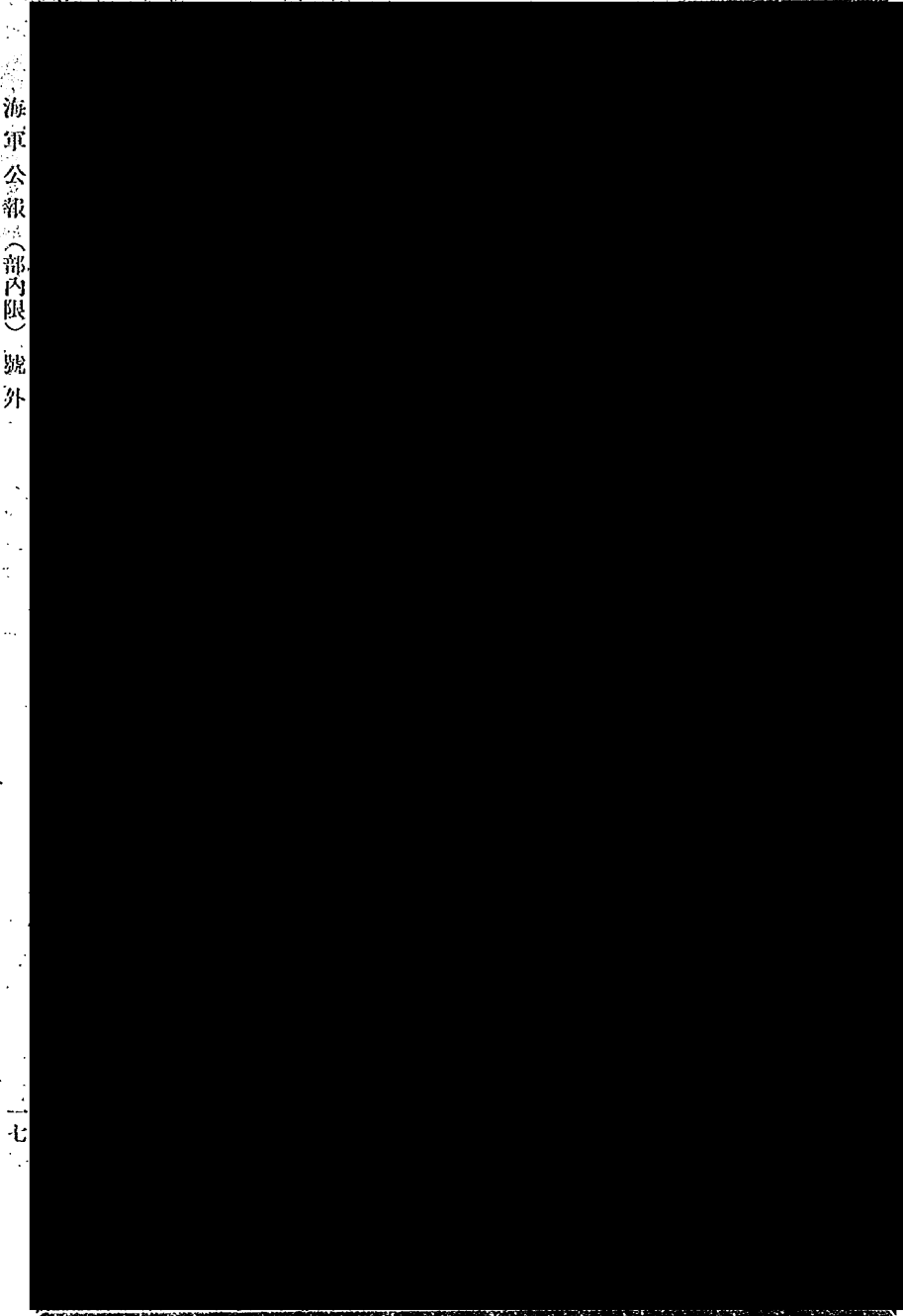
0705

海軍公報（部内限）號外

一六

0706

海軍公報（部内限）號外



0707

海軍公報 (部内限) 號外

一八

0708

海軍公報 (部内限) 號外

九

0709

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

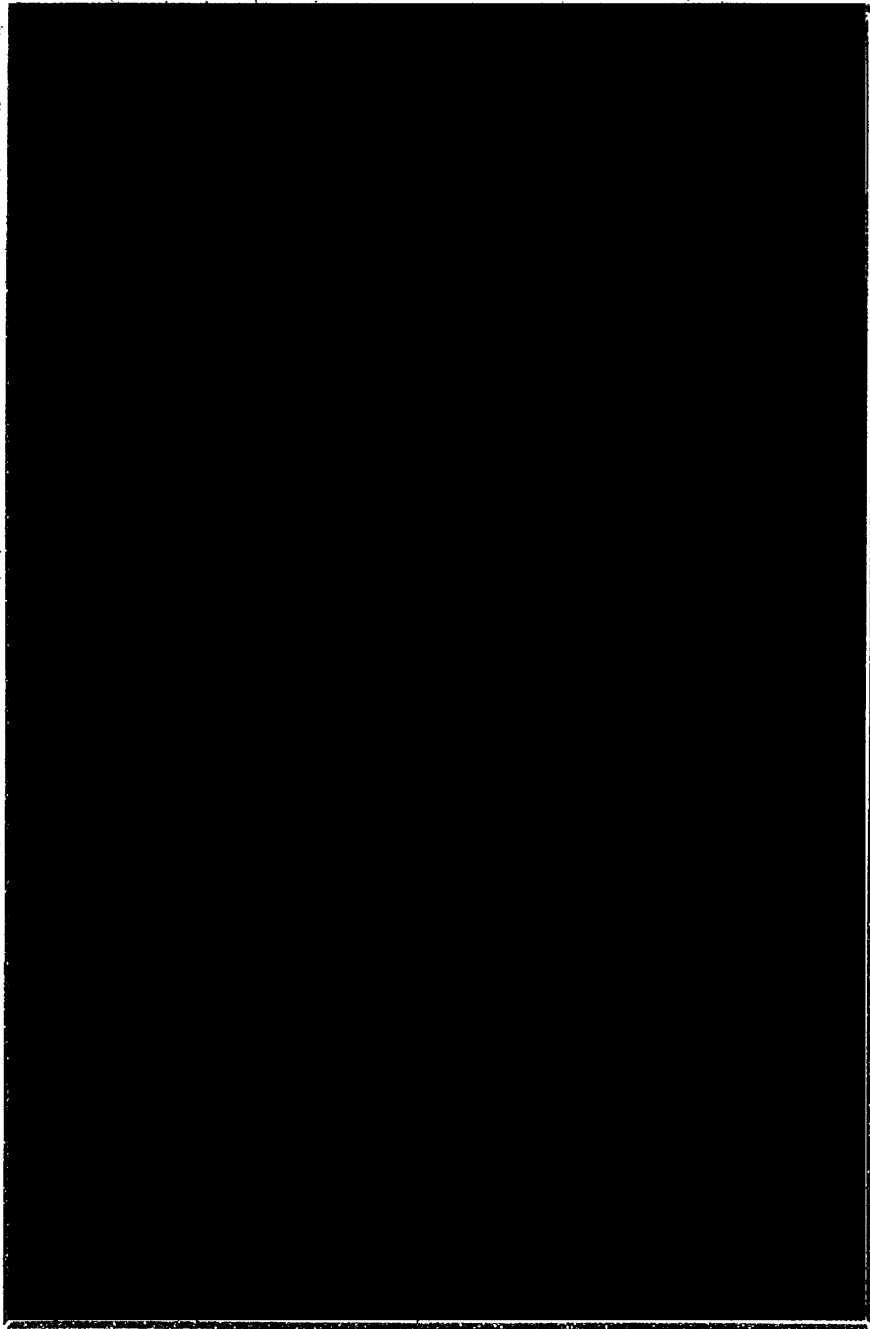
<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報 (部内限) 號外

110

0710

海軍公報 (部内限) 號外



0711

海軍公報 (部内限) 號外

三三

0712

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

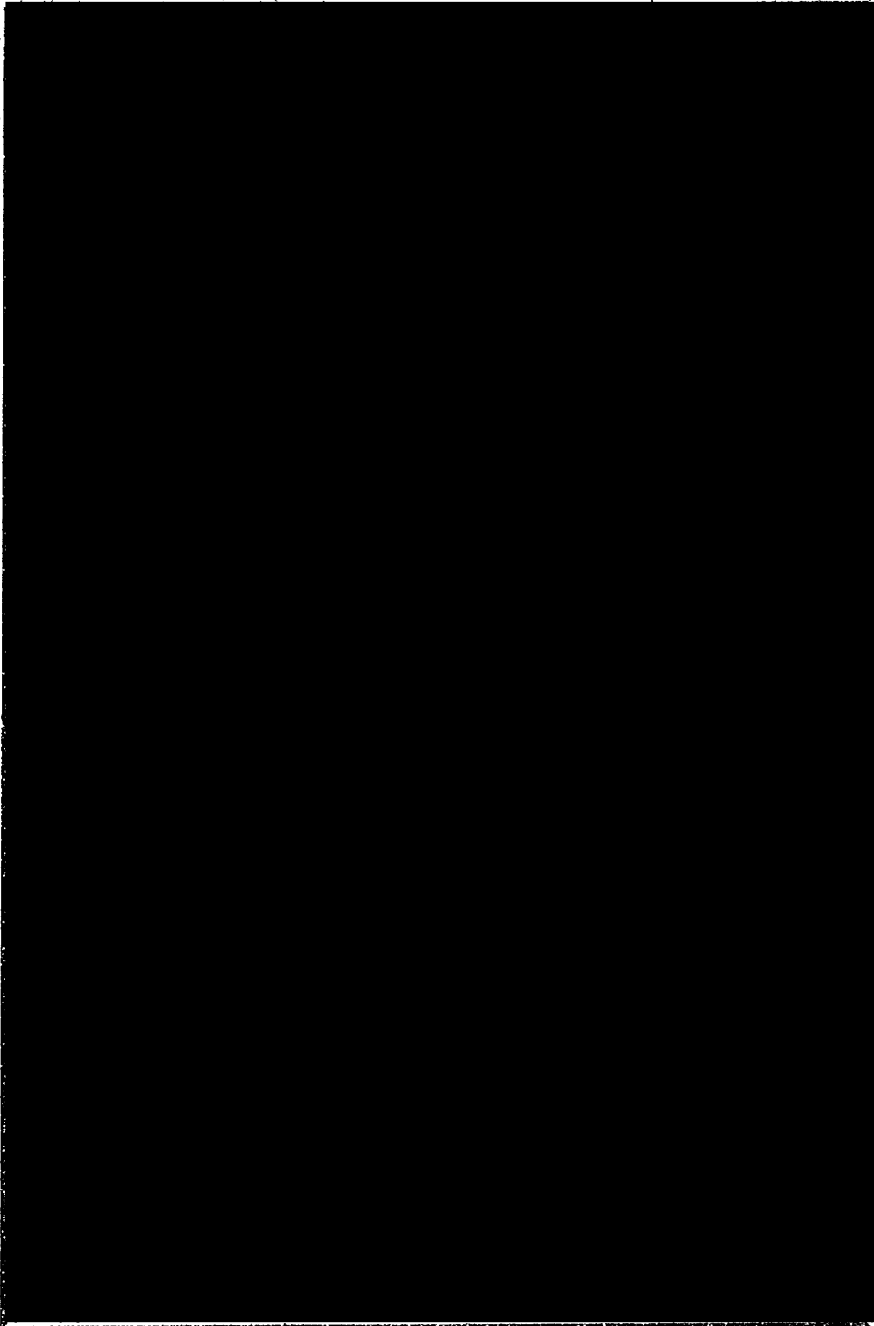
○ 懲 罰

海軍公報 (部内限) 號外

和十九年七月十二日(水)
海軍大臣官房

0713

海軍公報 (部内限) 號外



0714

海軍公報 (部内限) 號外

三

0715

海軍公報

(部内限) 第四七三八號

海軍大臣官房

昭和十九年七月十三日(木)

○令 達

達第二二三號

昭和十八年度及昭和十九年度ニ於テ建造ニ着手ノ輸送艦二隻及特務艇十二隻ニ左ノ通命名ス

昭和十九年七月十日

海軍大臣

吳海軍工廠ニ於テ建造

第九號 輸送艦

第十號 輸送艦

林兼重工業株式會社ニ於テ建造

第二十六號 驅潛特務艇

株式會社三保造船所ニ於テ建造

第二十七號 驅潛特務艇

株式會社佐賀造船鐵工所ニ於テ建造

第二十八號 驅潛特務艇

株式會社山西造船鐵工所ニ於テ建造

第二十九號 驅潛特務艇

市川造船所ニ於テ建造

第二十二號 驅潛特務艇

株式會社四國船渠工業所ニ於テ建造

第二二十一號 驅潛特務艇

有限會社福島造船鐵工所ニ於テ建造

第二二十二號 驅潛特務艇

株式會社自念造船鐵工所ニ於テ建造

第二二十三號 驅潛特務艇

福岡造船鐵工株式會社ニ於テ建造

第二二十四號 驅潛特務艇

株式會社小柳造船所ニ於テ建造

第二二十五號 驅潛特務艇

株式會社橫濱ヨット工作所ニ於テ建造

第十七號 魚雷艇

第十八號 魚雷艇

官房軍機密第九一五號

陸海軍航空技術委員會規約中左ノ通改正ス

昭和十九年七月八日

海軍大臣

第二條中「協同試作」、第二部會(機體)、第三部會(發動機及プロペラ)、第四部會(搭載兵器及計器)及第五部會(原料及材料規格標準寸度)ヲ「乃至第八部會」ニ改ム

内令提
要登載

海軍公報(部内限) 第四七三八號 昭和十九年七月十三日

九五九

0716

第三條第一號(二)ノ次ニ左ノ如ク加フ

(ホ) 協同研究關係事項ノ審議

同條第四號中「搭載兵器」ノ下ニ「基地兵器」ヲ加ヘ同條ニ左ノ三號ヲ加フ

六 第六部會

航空基地急速設定用機械ノ技術ニ關スル事項(生産關係ヲ含ム)ノ統制五助並ニ制式規格及用語ノ統一

七 第七部會

航空衣糧ノ技術ニ關スル事項(生産關係ヲ含ム)ノ統制五助並ニ制式規格及用語ノ統一

八 第八部會

航空衛生ノ技術ニ關スル事項(生産關係ヲ含ム)ノ統制五助並ニ制式規格及用語ノ統一

第七條中「各軍」ノ下ニ「及軍需省」ヲ加フ

第八條中「陸海軍航空關係」ヲ「陸海軍及軍需省航空關係」ニ改ム

第九條中「任ジ」ノ下ニ「陸軍航空技術研究所」ヲ加フ別表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表添)

(内令提要卷一、三〇ノ五六頁參照)

官房軍機密第九一二二號

陸海軍(除航空)技術委員會規約中左ノ改正ス

内令提
要登載

昭和十九年七月八日

陸軍大臣
海軍大臣

第五號中「第九分科(機關)」ノ下ニ「第十分科(舟艇)」ヲ加ヘ「ノ九分科」ヲ「ノ十分科」ニ改ム

別表中第八分科ノ項「海軍艦政本部部員」ニ「海軍艦政本部部員」ヲ

本部部員「二」ニ「第九分科ノ項」第三、第四若ハ第七陸軍

研究所部員「三」ヲ「第三、第四、第七若ハ第十陸軍技術

研究所部員「四」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ如ク加フ

陸軍兵器行政本部技術部部員 一

第十陸軍技術研究所部員 五

相模陸軍造兵廠部員 一

大阪陸軍造兵廠部員 一

海軍艦政本部部員 七

海軍技術研究所部員 二

(内令提要卷一、三〇ノ五三頁參照)

官房軍第八七四號

昭和十七年官房第四六八七號昭和十七年軍機密第九五十二號ニ依ル海軍監獄ノ所屬、名稱及位置ヲ定ムル件中左ノ通改正ス

昭和十九年七月十日

内令提
要登載

0717

表ノ末尾ニ左ノ如ク加フ
海軍大臣

第八艦隊 第八海軍刑務所 アイ

(昭和十七年八月一日海軍公報(部内限)参照)

官房軍第八七五號

昭和十八年官房軍第一〇九七號昭和十七年勅令第五百五十二號

ニ依リ設置セラレタル海軍監獄ノ職員配置ノ件申左ノ通改正ス

昭和十九年七月十日

海軍

内令撰
大要記載

表ノ末尾ニ左ノ如ク加フ

第八海軍刑務所 一 二

(昭和十八年九月三十日海軍公報(部内限)参照)

官房人第七四三號

本年六月三十日現在第二海軍技手養成所職員タル者ハ別ニ辭令

ヲ用ヒズンデ同職員ヲ免セラレタルモノトス

昭和十九年七月十一日

海軍大臣

○通 牒

海軍公報(部内限)第四七三三號 昭和十九年七月十三日

官房人第七四四號

昭和十九年七月十二日

海軍次官事務取扱

各所屬長官殿

海軍囑託者ニ對スル辭令書交付省略ニ關スル

件申進

當分ノ間囑託者ノ採用及解囑ニ對スル辭令書ノ交付ハ特ニ必要
トスルモノノ外之ヲ省略スルコトニ定メラレ候

教育第一六三號

昭和十九年七月六日

海軍省教育局長

關係各廳長殿

學術獎勵賞授與賞品ニ關スル件申進

官房教第四九號ニ依ル首題ノ件左記ニ依ル義ト了知相成度

記

一 六月二十三日以前卒業者ニハ從來通時計授與

二 右期日以後卒業者ニハ賞狀ノミ

(昭和十九年六月二十四日海軍公報(部内限)参照)

○雜 款

○移轉

第三海軍航空廠補給部ハ七月一日横須賀市田浦町ヨリ千葉縣木

九六一

0718

更津市殿根(第二海軍航空廠廳舎内)ニ移轉セリ

追テ舊田浦補給部ハ補給工場トシテ存続ス

(第二海軍航空廠)

○事務所移轉並ニ名稱變更

名古屋海軍監督官事務所静岡出張所ハ七月十五日左記ニ移轉シ
名古屋海軍監督官事務所清水出張所ト稱ス

記

静岡縣清水市相生町一二番地

(名古屋海軍監督官事務所)

○事務所開始

第二十七號海防艦艇裝具事務所ヲ七月三日横濱市鶴見區辨天町

一七日本鋼管株式會社鶴見造船所内ニ設置シ事務所ヲ開始セリ

第五十六號驅潜艇艇裝具事務所ヲ七月七日大阪市西成區北加賀

屋町二一二浪速船渠株式會社内ニ設置シ事務所ヲ開始セリ

驅逐艦桐籬裝具事務所ヲ七月七日横須賀海軍工廠内ニ設置シ事

務ヲ開始セリ

○事務所撤去

第六十三號驅潜艇艇裝具事務所ハ六月三十日之ヲ撤去セリ

第三十六魚雷調整班事務所(洲ノ崎空横須賀分遣隊内)ハ七月

七日之ヲ撤去セリ

第三百三十三號特設輸送艦艇裝具事務所ハ七月四日之ヲ撤去セリ

○赴任ニ關スル件

當隊麾下各隊ニ轉入ノ准士官以上ニシテ長期内地ニ滞在シ着任

甚シク遅延スル者相當有之隊務遂行ニ支障ヲ來シツ、アル現狀

ニ付轉任發令アリタル際ハ至急最近便ニテ赴任セシメラレ度

追テ最近便ナキ場合ハ行動其ノ他ニ關シ各隊宛連絡(陸電)

セシメラレ度

(第十四聯合航空隊司令部)

○正誤

七月三日海軍公報(部内限)令達(九一七頁下欄)中「官房軍

第八七二號」ハ「官房軍機密第八七二號」ノ誤

海軍中尉平野房司六月二十九日飛行訓練中遭難殉職、六
月三十日筑波海軍航空隊ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行セ
リ

海軍中尉井ノ口保規六月三十日飛行訓練中遭難殉職、七
月三日筑波海軍航空隊ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行セ
リ

0719

海軍公報 (部内限) 第四七三九號

海軍大臣官房

昭和十九年七月十四日(金)

〇令 達

達第二二三號

海軍防衛召集事務取扱規程左ノ通定ス

昭和十九年七月十二日

海軍大臣

海軍防衛召集事務取扱規程

第一章 總則

第一條 防衛召集ノ事務取扱ニ關シテハ海軍防衛召集規則(以下規則ト略稱ス)ニ依ルノ外本規程ニ依ル

第二條 防衛召集ノ發動及其ノ終止ハ海軍大臣之ヲ令ス

鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官防衛上緊急已ムヲ得ザルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ獨斷ヲ以テ防衛召集ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事情ヲ具シ速ニ海軍大臣ニ報告スルト共ニ規則第三十一條ノ規定ニ依リ通報スベシ其ノ召集ヲ解除シタル場合亦同シ

第三條 防衛召集ニ關スル事務ハ前條第二項ノ場合ヲ除クノ外前條第一項ノ規定ニ依ル指令ニ基キ之ヲ開始又ハ終止シ其ノ間第六條ノ規定ニ依リ待命期間ヲ以テ事務取扱上ノ年度トシ順次之ヲ更新ス

第四條 防衛召集ハ左ノ區分ニ從ヒ之ヲ行フモノトス

一 警備召集ノ實施及解除ハ海軍在郷軍人ノ現住地又ハ現勤務地ノ警備ヲ擔任スル鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官ノ所掌トス

二 特別召集ノ實施及解除ハ海軍在郷軍人ノ乘組船舶所在地ノ警備ヲ擔任スル鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官ノ所掌トス但シ特別召集待命令狀及特別召集令簿ノ交付ハ當該船舶所有者所在地ノ警備ヲ擔任スル鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官ノ所掌トス

第五條 防衛召集ヲ行フベキ地域ハ特ニ指定スル場合ノ外前條ノ區分ニ從ヒ鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官之ヲ定ムルモノトス

第六條 規則第五條ノ規定ニ依リ警備又ハ特別召集待命令狀ニ記載スベキ待命期間ハ之ヲ一年トシ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ヲ以テ終ルモノトス但シ海軍大臣ノ指令ニ基キ事務ヲ開始スル場合ニ於テハ鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官ノ定メタル期日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ待命期間トス

第七條 鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官規則第七條ノ規定ニ依リ防衛召集擔任官(以下擔任官ト略稱ス)及防衛召集取扱者(以下取扱者ト略稱ス)ヲ指定スル場合ニ

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第四七三九號 昭和十九年七月十四日

九六三

0721

於テハ左ノ各號ニ依ルモノトス

一 特ニ緊急已ムヲ得ザル場合ノ外前條ノ規定ニ依ル待命期間ノ四月前迄ニ指定ス

二 擔任官ニ充ツベキモノハ警備召集ニ關シテハ主トシテ部隊ノ長、特別召集ニ關シテハ主トシテ船舶保護ノ任ヲ有スル海軍將校トス

三 取扱者ニハ擔任官ノ意見ヲ參酌シ警備召集ニ關スルモノニ在リテハ在郷軍人ノ撤布狀況乃至當該地方ノ狀況ニ應ジ召集實施上適當ト認ムル者ヲ、特別召集ニ關スルモノニ在リテハ船舶所有者又ハ之ニ準ズル者ヲ指定ス

四 官公吏以外ノ者ニ對シ取扱者ノ指定ヲ爲ス場合ニ於テハ豫メ其ノ監督廳又ハ之ニ準ズルモノヲ經テ之ヲ了解ヲ求メシム

擔任官及取扱者ノ指定ハ鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官ニ於テ之ヲ解除スルニ至ル迄其ノ效力ヲ有スルモノトス

第八條 擔任官規則第九條ノ規定ニ依ル區域ヲ指定セントスルトキハ取扱者タルヲ適當ト認ムル者ノ職名、官階、(又ハ地位)氏名ニ意見ヲ附シ所屬長官ニ報告スベシ爾後變更アリタル場合亦同シ

擔任官前項ノ區域ヲ指定シタルトキハ其ノ旨所屬長官ニ報告スルト共ニ關係アル地方行政廳ノ長ニ通報スベシ之ヲ變更シ

タル場合及其ノ指定ヲ解除シタル場合亦同シ

第九條 擔任官ハ防衛召集事務ニ關シ取扱者ヲ區處スルコトヲ得

第十條 擔任官防衛召集事務ニ關シ内規ヲ設ケタルトキハ之ヲ所屬長官ニ報告スルト共ニ關係各部ニ通知スベシ爾後之ヲ改正シタル場合亦同シ

第十一條 擔任官及取扱者(官公吏タル者)ハ防衛召集實施業務ヲ調製シ召集實施ニ當リ他ノ法規等ヲ參照セザルモ各擔當者ニ於テ其ノ業務ヲ迅速確實ニ實施シ得ベク且業務擔當者不在ノ場合ニ於テモ業務ノ實施ニ支障ナカラシムル如ク記註シ置クモノトス

第十二條 防衛召集事務取扱ノ爲擔任官及取扱者ニ於テ整備スベキ書類物件ハ概ネ別表ニ依ルモノトス

防衛召集事務ニ關シテハ海軍部内人事通報略語表ニ依ル略語ヲ用フルコトヲ得

第十三條 規則第九條ノ規定ニ依ル在郷軍人名簿ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ整備セシムルモノトス

一 警備召集待命者、特別召集待命者及待命者以外ノ者トニ區分シ各別冊トシ各冊共士官、豫備士官又ハ在籍鎮守府(准士官以上、下士官兵及豫備准士官以下ニ區分)毎ニ區分標示ヲ附シ官(職)階順ニ編綴ス

二 規則第十條ノ規定ニ依ル届出ニ付異動事項ヲ承知シタル

0722

トキハ其ノ都度之ヲ訂正ス

三 規則第十一條ノ規定ニ依ル届ヲ受理シタルトキハ名簿裏面ノ「其ノ他参考事項」欄ニ居住地ヨリ到着地ニ至ル所要時間ヲ記入ス

四 規則第十二條又ハ同第十三條ノ規定ニ依ル届ヲ受理シタルトキハ名簿餘白ニ其ノ要旨ヲ附箋シ事故止ミタルトキハ之ヲ除去ス

五 規則第九條ニ規定スル者ニ該當セザルニ至リタルトキ又ハ服役満期、失官（下士官ヲ除ク）、免官、免役、死亡若ハ失踪宣告ノ者、六年以上ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者アルトキハ本名簿ヨリ除去ス

六 召集セラレタル者ニ對シテハ其ノ種類及期間ヲ記入ス

第十四條 擔任官ハ在郷軍人名簿ノ寫一通ヲ調製保管シ前條ニ準ジ整備スベシ

第十五條 防衛召集事務ニ關スル書類、簿冊ノ記載事項ニ付訂正、挿入又ハ削除ヲ爲サントスルトキハ別段ノ規定アル場合ノ外朱線ヲ平行ニ引キ削除シ挿入スベキ文字ハ其ノ右側又ハ上位ニ正書シ且諸名簿ノ異動ニ在リテハ削除文字ハ仍讀ミ得ル如ク字體ヲ存スベシ

第十六條 防衛召集事務ニ關スル書類ハ左ノ區分ニ依リ各別ニ編號シ各冊巻頭ニ索引（綴込番號、發行年月日、發行番號、件名、處分ノ各欄ニ分ツ）ヲ附スルモノトス

海軍公報（部内限）第四七三九號 昭和十九年七月十四日

第十七條 防衛召集事務ニ關スル書類物件ハ他ノモノト區分シ保管目録ヲ附シ鎖鑰ヲ有スル容器ニ收メ火災其ノ他非常ノ場合ニハ之ヲ安全ナル場所ニ搬出シ監視者ヲ附シ其ノ散逸ヲ防グベシ之ヲ爲ス容器ノ見易キ位置ニ「非常持出」ノ標示ヲ爲スモノトス但シ宿直員ニ關スルモノ及日常使用ノモノハ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ保管スルコトヲ得

第十八條 鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官規則第二十五條ノ管轄又ハ號音ヲ定メタルトキハ之ヲ關係各部ニ通知スベシ

前項ノ管轄又ハ號音ハ緊急ノ場合ニ限り之ヲ使用スルモノトシ其他ノ規定ニ依ル管轄又ハ號音ト混同セザル如ク之ヲ定ムベシ

第十九條 擔任官召集傳達ノ爲必要アリト認ムルトキハ所屬長官ノ認可ヲ受ケ所要ノ管轄又ハ號音ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ其ノ使用要領ヲ定メ關係各部ニ通知スベシ

編 號 區 分	保 管 期 間	記 事
防衛召集事務例規	永久	防衛召集關係法規及永久參照ヲ要スル文書ヲ編綴ス
防衛召集實施關係	永久	防衛召集ノ實施及解除ニ關スル文書ヲ編綴ス
防衛召集準備關係	二年	防衛召集準備關係ハ必要ニ應ジ之ヲ作製ス
防衛召集教育關係	二年	防衛召集教育關係ハ必要ニ應ジ之ヲ作製ス
待命者異動關係	一年	特別召集關係別ニ之ヲ編綴ス

0723

第二章 準備

第二十條 鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官防衛召集實施豫定地域ヲ定メタルトキハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第二十一條 鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官前條ノ豫定地域ニ付擔任官及取扱者ノ指定ヲ爲シタルトキハ左ノ區分ニ依リ之ヲ通知スベシ其ノ指定ヲ解除シタル場合亦同シ

取扱者	指定區分		通知先
	警備召集關係	擔任官	
特別召集關係	鎮守府司令長官、關係アル地方長官又ハ之ニ準ズル者、關係アル憲兵隊長	鎮守府司令長官、警備府司令長官、關係アル艦隊司令長官、海上護衛司令官、海軍省人事局長	鎮守府司令長官、關係アル地方長官又ハ之ニ準ズル者、官公吏以外ニ指定ノ場合ハ其ノ監督官、巡檢通信省海選總局長
警備召集關係	擔任官、關係アル憲兵隊長、官公吏ニ指定ノ場合ハ關係地方長官又ハ之ニ準ズル者、官公吏以外ニ指定ノ場合ハ其ノ監督官、巡檢通信省海選總局長	鎮守府司令長官、警備府司令長官、關係アル艦隊司令長官、海上護衛司令官、海軍省人事局長	鎮守府司令長官、警備府司令長官、關係アル艦隊司令長官、海上護衛司令官、海軍省人事局長
特別召集關係	鎮守府司令長官、關係アル地方長官又ハ之ニ準ズル者、關係アル憲兵隊長	鎮守府司令長官、警備府司令長官、關係アル艦隊司令長官、海上護衛司令官、海軍省人事局長	鎮守府司令長官、警備府司令長官、關係アル艦隊司令長官、海上護衛司令官、海軍省人事局長

第二十二條 鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官防衛召集實施豫定地域ヲ定ムル場合ニハ警戒、空襲警報又ハ第十八條ノ警報若ハ號音ニ依リ召集實施又ハ解除ノ令達ニ代フル場合ノ要領ヲ定メ之ヲ關係各部ニ通知スルモノトス
第二十三條 擔任官前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ待命者ニ告示スベシ第十九條ノ規定ニ依ル要領ヲ定メタル場合亦同シ

第二十四條 擔任官ハ特ニ指定アル場合ノ外毎年十二月一日現在ニ於テ左ノ事項ヲ調査シ之ニ召集實施ニ關スル意見ヲ附シ所屬長官ニ報告スベシ爾後大ナル異動アリタルトキ亦同シ

一 指定區域内ノ在郷軍人員數(警備又ハ特別召集可能員ト召集不可能員トニ分チ召集可能員ニ在リテハ更ニ士官、豫備士官、特務士官、准士官、豫備准士官、下士官兵(特修兵別)及豫備下士官以下別ニ區分ス)
二 防衛施設ノ現狀(警備召集ニ在リテハ使用兵器、宿舍、及給養ニ關スル設備ノ現狀、特別召集ニ在リテハ指定區域内ニ籍ヲ有シ規則第二條第三項ノ規定ニ該當スル船舶名及其ノ船長又ハ之ニ準ズル者ノ役種、官(職)階、氏名)

第二十五條 鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官規則第十七條ノ規定ニ依リ待命者ト爲スベキ人員等ヲ擔任官ニ達スル場合ハ緊急已ムヲ得ザル場合ノ外第六條ノ規定ニ依リ待命期間ノ三月前迄ニ之ヲ爲スモノトス

第二十六條 擔任官規則第十八條ノ規定ニ依リ警備又ハ特別召集待命豫定者連名簿ヲ所屬長官ニ進達シタル後異動ニ依リ特ニ追加ヲ要スルモノアルトキハ同名簿ノ追加ヲ調製シ之ヲ進達又ハ報告スベシ

第二十七條 海軍省人事局長又ハ海軍人事部長規則第二十條又ハ第二十一條ノ規定ニ依リ警備又ハ特別召集待命豫定者連名簿ノ調査照合ヲ爲シタル後任用、進級、轉籍、改姓名、免官、失官、免役、死亡、失踪宣告又ハ刑ニ處セラレタル等ノ者ア

0724

リタルトキハ其ノ旨關係アル擔任官ニ通知スベシ
擔任官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ關係書類ニ付所要ノ訂正
ヲ爲シ且取扱者ヲシテ所要ノ處理ヲ爲サシメタル後之ヲ所屬
長官ニ報告スベシ

第二十八條 鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長
官規則第二十二條ノ規定ニ依リ待命令狀、召集令狀又ハ召集
令簿ヲ作製スル場合ニ於テハ其ノ記入事項等ニ付擔任官ヲシ
テ事務ノ一部ヲ補助セシムルコトヲ得

第二十九條 擔任官警備召集令狀保管中ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ
整備スベシ

一 直接本人ニ交付スベキモノト取扱者ニ送付スベキモノト
ニ區分シ且之ヲ交付又ハ送付ニ際シ迅速確實ヲ期シ得ル如
ク區別シ所要ノ標示ヲ爲シタル袋ニ納メ保管ス

二 第二十七條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキ又ハ待命者
ノ異動ヲ承知シタルトキハ其ノ都度所要ノ訂正ヲ爲ス

三 旅行、疾病又ハ家事ノ事情等ニ因リ一定期間應召シ難キ
者アルトキハ其ノ事由ヲ附箋シ事故止ミタルトキ之ヲ除去
ス

第三十條 擔任官及取扱者(官公吏タル者)ハ召集令狀ノ送付、
交付又ハ召集ノ傳達ニ迅速確實ヲ期スル爲所要ノ急使派遣準
備ヲ整ヘ置クモノトス

第三十一條 規則第二十二條及第二十三條ノ規定ニ依リ警備又
ハ特別召集待命令狀及特別召集令簿ヲ交付スル場合ハ特別ノ

事情ヲキ限リ待命期間ノ五日前迄ニ本人ニ於テ受領シ得ル如
ク措置スベシ

擔任官特別召集待命令狀及特別召集令簿ヲ交付スル場合ニ於
テハ狀況ニ依リ之ヲ他ノ擔任官ニ依頼スルコトヲ得

第三十二條 擔任官規則第二十二條但書又ハ前條第三項ノ規定
ニ依リ警備又ハ特別召集待命令狀及特別召集令簿ヲ交付シタ
ルトキハ其ノ旨關係アル取扱者ニ通知スベシ

第三十三條 擔任官防衛召集準備完了シタルトキハ之ヲ所屬長
官ニ報告スベシ

第三章 實施

第三十四條 防衛召集ノ實施ハ鎮守府司令長官、警備府司令長
官又ハ艦隊司令長官之ヲ命達ス

前項ノ令達ハ第二十二條ノ規定ニ依ル要領ノ定メアル場合ニ
於テハ警戒、空襲警報ノ發令ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

召集擔任官狀況急迫シ命ヲ請フノ迫ナキトキハ第一項ノ規定
ニ拘ラズ獨斷ヲ以テ防衛召集ヲ專行スルコトヲ得此ノ場合ニ
於テハ事由ヲ具シ所屬長官ニ報告スベシ

第三十五條 鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長
官防衛召集ノ實施ヲ令シタルトキハ關係アル鎮守府司令長
官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官ニ通報スルト共ニ警備
召集ニ在リテハ關係地方長官、憲兵隊長又ハ之ニ準ズル者
ニ、特別召集ニ在リテハ海上護衛司令長官ニ通報又ハ通知ス
ベシ

0725

第三十六條 擔任官防衛召集ノ實施ニ際シ召集ノ傳達ヲ爲ス場合ハ規則第二十七條ノ規定ニ依ルノ外左ノ各號ニ依リ處理スベシ

一 警備召集令狀ヲ交付又ハ送付スル場合ニ於テハ之ニ所要事項記入捺印ノ上急使ヲ用ヒ送達ス

二 特別召集ニ在リテハ特別召集令狀ヲ提示セシメ之ニ召集發令年月日、召集傳達地名及擔任官ノ職氏名ヲ記入捺印ノ上之ヲ本人ニ交付シ且本人ノ官(職)階、氏名、乗船名、行動豫定及召集傳達ノ日時ヲ記録シ置ク

三 警戒、空襲警報ノ發令又ハ所屬長官ノ定メタル音響、號音ニ依リ召集ノ旨ヲ傳達スル場合ニ於テハ更ニ第十九條ノ規定ニ依ル音響、號音ヲ用ヒ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ガ徹底ニ努ム

四 前號ノ場合ノ外緊急已ムヲ得ザル場合ニ在リテハ第十九條ノ規定ニ依ル音響、號音又ハ口頭、電話、信號等適當ノ方法ニ依リ召集ノ旨ヲ傳達スルコトヲ得

擔任官前項第三號又ハ第四號ノ規定ニ依リ召集ノ傳達ヲ爲シタルトキハ其ノ記録ヲ記録シ置クベシ

第三十七條 擔任官ハ召集スベキ者ノ家族所在不明等ノ爲召集ノ傳達ヲ爲シ得ザリシ者又ハ正當ノ理由ナクシテ應召セザル者アリタルトキハ憲兵又ハ警察官吏ヲ經テ調査ヲ行ヒタル後其ノ役種、官(職)階、氏名、事由及特務士官以下ニ在リテハ在籍領守府名ヲ所屬長官ニ報告スベシ

第三十八條 警備召集應召員ノ到着部隊ノ長應召員參著シタルトキハ其ノ役種、官(職)階、氏名、參著日時及入籍番號(准士官以上ニ在リテハ在籍區分)ヲ記載セル名簿二通ヲ添ヘ之ヲ所屬長官ニ報告スベシ

第三十九條 特別召集ノ傳達ヲ爲シタル擔任官ハ應召員ノ役種、官(職)階、氏名、召集日時、船舶名及入籍番號(准士官以上ニ在リテハ在籍區分)ヲ記載セル名簿三通ヲ作製シ其ノ二通ヲ添ヘ所屬長官ニ報告シ、一通ヲ添ヘ船舶警戒部長ニ通報スベシ

第四十條 領守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官第三十七條乃至前條ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ士官及豫備士官ニ在リテハ海軍省人事局長ニ、特務士官以下ニ在リテハ在籍領守府司令長官ニ通報スベシ

第四章 解除

第四十一條 領守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官第二條第一項ノ規定ニ依ル防衛召集終止ノ指令ヲ受ケタルトキハ召集及待命ヲ解除スベシ但シ防衛ノ必要上之ヲ解キ得ベカラザル場合ニ於テハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ召集又ハ待命ヲ解除セザルコトヲ得

第四十二條 規則第三十二條及前條ノ規定ニ依ル場合ノ外防衛召集ノ解除ハ領守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長官必要ニ應ジ之ヲ行フモノトス

第四十三條 領守府司令長官、警備府司令長官又ハ艦隊司令長

0726

官第四十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ防衛召集ヲ解除スル場合ニ在リテハ之ヲ擔任官ニ達シ且第三十五條ノ規定ニ準ジ通報スベシ

第四十四條 擔任官前條ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ旨應召員ニ傳達スベシ

擔任官前項ノ規定ニ依リ召集解除ノ傳達ヲ爲シタルトキ又ハ規則第三十二條ノ規定ニ依リ召集ヲ解除シタルトキハ第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ準ジ報告又ハ通報シ且警備召集ノ解除ニ在リテハ其ノ旨取扱者ニ通知スベシ

第四十五條 擔任官第四十三條ノ達ニ基キ特別召集解除ノ旨ヲ傳達シタルトキ又ハ規則第三十三條ノ規定ニ依リ特別召集ノ

待命ヲ解除シタルトキハ特別召集令簿ヲ返却セシメ之ヲ船舶警戒部長ニ送付スベシ

(別紙一葉添)

官房備第七三號ノ四

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

新設海軍軍用郵便所ノ事務開始期日ハ追テ之ヲ定ム

昭和十九年七月十三日

表中第十四海軍軍用郵便所ノ項ヲ削リ第三十二海軍軍用郵便所ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第三十三海軍軍用郵便所	第三艦隊ノ一艦	横須賀鎮守府	第三艦隊	監 督 官	兼務 一人
				所 長	一人 奏任
				員 專任	二人 判任

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ(内令提要卷一、六四〇九頁)

官房空機密第一一號ノ三七九

昭和十九年七月十三日

官房機密第四三一九號

大東亞戰爭中第一海軍技手養成所ノ教育ハ昭和十九年九月末日限り一時之ヲ中止ス

詳細ハ海軍艦政本部長ヲシテ通知セシム

昭和十九年七月十三日

内令提
要登載

横須賀、吳、各鎮守府司令長官
佐世保、舞鶴、大湊、鎮海、高雄各警備府司令長官 殿

兵器供給ニ關スル件通達

艦船部隊特設艦船部隊ニ供給スベキ飛行長、主管第一類兵器ハ自

海軍公報(本部内限) 第四七三九號 昭和十九年七月十四日

九六九

0727

今官房空機密第一七〇〇號艦船部隊、特設艦船部隊基準兵器簿
飛行長主管第二類及昭和十八年官房空機密第七號ノ一三八練習
航空隊教育用兵器供給標準飛行長主管ノ定數ニ依リ供給スルコ
トニ定ム

○通 牒

官房空機密第一二號ノ三八〇

昭和十九年七月十三日

海 軍 省 副 官

横須賀、吳(各鎮守府副官) 殿
佐世保、舞鶴(各鎮守府副官) 殿
大湊、鎮海、高雄(各警備府副官)

兵器簿飛行長主管第二類ノ件通知

艦船部隊特設艦船部隊兵器簿飛行長主管第二類ハ官房空機密第
一七〇〇號ニ依リ艦船部隊、特設艦船部隊基準兵器簿飛行長主
管第二類及昭和十八年官房空機密第七號ノ一三八練習航空隊教
育用兵器供給標準飛行長主管ニ依ルコトニ定メラレタル處現用
ノ兵器簿ハ當該部隊改編時迄其ノ儘使用スルコトニ定メラレ候

軍需機密第二二八號

昭和十九年七月十三日

海 軍 省 軍 需 局 長

關係各廳長 殿

戦地ノ適用區域ニ關スル件中改正ノ件通牒

昭和十七年軍需機密第一九五號ノ二首題地域中左記ノ通改正
致候

記

「小笠原諸島」ノ上ニ「千島諸島」ヲ加フ

(参照) 海軍機密會計法規類集一三〇ノ五六頁

○雜 談

大東亞戰爭戦歿者故海軍中將山田道行外諺勇士ノ合同海
軍葬儀ヲ來七月十五日午前十時三十分横須賀海兵團ニ於
テ佛式ニ依リ執行
大東亞戰爭戦歿者故海軍軍屬平方 鼎外諸勇士ノ合同海
軍葬儀ヲ來七月二十六日(水)午前十時鎮海海仁會集會
所ニ於テ神式ニ依リ執行

○本日普通公報發行セズ

(達第三三號別表)

(昭和十九年七月十四日海軍公報(部内限))

防衛召集準備書類物件一覽表

書類物件	保管者及保管区分		摘要
	防衛召集 担任官	防衛召集 取扱者 甲 同上 乙	
防衛召集關係書類物件目録	○	○	書類物件名ハ本表ノ順序ニ記載シ保管番號數量等ヲ記入ス
在郷軍人名録	○	○	
警備召集令狀	○		
特別召集令録	○		
防衛召集實施業務書	○		
急使派遣準備書類	○		
電話記録簿	○		
防衛召集件名簿	○		
防衛召集目録	○		
防衛召集關係法規及例規綴	○		
防衛召集實施關係綴	○		
待命者異動關係綴	○		
防衛召集準備關係綴	○	○	
急使携帶囊	○		肉池、小刀、鉛筆、「ペン」等ヲ附ス
急使用具	○		必要ニ應ジ直ニ適當ノ處置ヲ爲シ得ル所ニ在リテハ特ニ防衛召集用トシテ準備セザルコトヲ得

備考
 一 本表中防衛召集取扱者甲ハ官公吏タル防衛召集取扱者ヲ、同乙ハ官公吏ニ非ザル防衛召集取扱者ヲ謂フ
 二 本表ノ外必要ト認ムルモノハ適宜準備スルモノトス
 三 準備書類ニハ平時記入シ得ベキ文字ハ悉ク記入シ且使用目的及記入方法ヲ詳記セル凡例ヲ附シ置クモ
 ノトス

0729